

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年8月14日
【四半期会計期間】	第8期第2四半期（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
【会社名】	株式会社Sun Asterisk
【英訳名】	Sun* Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 小林 泰平
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田紺屋町15番地
【電話番号】	03-6419-7655
【事務連絡者氏名】	取締役 服部 裕輔
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田紺屋町15番地
【電話番号】	03-6419-7655
【事務連絡者氏名】	取締役 服部 裕輔
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第8期 第2四半期 連結累計期間	第7期
会計期間	自2020年1月1日 至2020年6月30日	自2019年1月1日 至2019年12月31日
売上高 (千円)	2,697,411	4,529,508
経常利益 (千円)	564,387	486,189
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	500,916	410,832
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	482,665	403,046
純資産額 (千円)	3,012,918	2,028,653
総資産額 (千円)	4,197,142	3,355,508
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	14.80	13.17
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	-	-
自己資本比率 (%)	71.78	60.45
営業活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	472,867	461,807
投資活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	277,872	297,079
財務活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	358,347	1,284,248
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	2,762,646	2,218,818

回次	第8期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2020年4月1日 至2020年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	6.80

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 第7期及び第8期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は第7期及び第8期第2四半期連結累計期間において非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載していません。
4. 当社は、第7期第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、第7期第2四半期連結累計期間に係る主要な経営指標等の推移については記載していません。
5. 2020年3月11日開催の取締役会決議により、2020年3月31日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っています。第7期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しています。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクの発生、または、有価証券届出書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。なお、当社は、前第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により経済・消費活動が停滞し、依然として不透明な状況が継続しています。

当社グループがサービスを提供するデジタル・クリエイティブスタジオ関連市場においては、ビッグデータ、IoT、人工知能（AI）等の市場の拡大が引き続き見込まれる一方で、国内でこれらの開発を担う人材の不足が懸念されています。また、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、リモートワークの浸透や各種サービスのオンライン化など、生活における様々な場面においてデジタルトランスフォーメーションが進んでいます。

こうした経営環境の中、当社グループは、顧客の課題に応じて必要なサービスを提供すべく、「デジタル・クリエイティブスタジオ事業」という単一セグメントの中で、顧客と一緒にデジタルプロダクトを創造していく「クリエイティブ&エンジニアリング」と、デジタルプロダクトの創造に必要な人材を発掘・育成し、顧客に輩出していく「タレントプラットフォーム」という2つのサービスラインを展開し、中期経営計画に基づき、顧客数及び顧客単価の拡大を重点課題として取り組んでいます。

「クリエイティブ&エンジニアリング」においては、既存顧客からの継続・安定した堅調な受注と、新規顧客の増加が継続していることにより、当第2四半期連結累計期間末におけるストック型顧客数は77社、顧客単価は3,737千円、売上高は2,147,062千円となりました。「タレントプラットフォーム」においては、企業の採用意欲が軟調に推移したことにより、売上高は550,349千円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高2,697,411千円、売上総利益は1,445,982千円、売上総利益率は53.61%となりました。また、営業損益以下の段階損益においては、売上高の継続成長に伴い、営業利益548,598千円、経常利益564,387千円、親会社株主に帰属する四半期純利益500,916千円となりました。

なお、当社グループは、デジタル・クリエイティブスタジオ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載していません。

(2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,197,142千円となり、前連結会計年度末に比べ841,634千円増加しました。これは主に、2020年1月及び2月に実施した資金調達（第三者割当増資）等による現金及び預金の増加727,756千円によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,184,224千円となり、前連結会計年度末に比べ142,630千円減少しました。これは主に、短期借入金100,000千円の返済による減少、未払費用54,489千円の減少によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,012,918千円となり、前連結会計年度末に比べ984,265千円増加しました。これは主に、2020年1月及び2月に実施した資金調達（第三者割当増資）等による資本金の増加250,800千円、資本剰余金の増加250,800千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加500,916千円によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,762,646千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は472,867千円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益564,387千円の計上、賞与引当金の増加額72,729千円の計上、たな卸資産の減少額92,321千円の計上等があったものの、売上債権の増加額154,854千円、未払費用の減少額53,748千円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は277,872千円となりました。これは、定期預金の預入による支出215,274千円及び投資有価証券の取得による支出55,751千円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は358,347千円となりました。これは、株式の発行による収入501,600千円、長期借入金の返済による支出143,253千円があったこと等によるものです。

（3）経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

（4）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（5）研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、45,694千円です。なお、当第2四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	136,000,000
計	136,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	34,160,000	36,210,000	東京証券取引所 (マザーズ)	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式です。なお、単元株式数は100株です。
計	34,160,000	36,210,000	-	-

(注) 1. 当社株式は、2020年7月31日付で、東京証券取引所マザーズ市場に上場しています。

2. 2020年7月30日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による増資により、発行済株式総数が2,050,000株増加しています。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年4月1日~ 2020年6月30日	-	34,160,000	-	805,500	-	790,500

(注) 2020年7月30日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による増資により、発行済株式総数が2,050,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ660,100千円増加しています。

(5) 【大株主の状況】

2020年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数(株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合
平井 誠人	Havelock Road Singapore	13,027,500	38.14
服部 裕輔	東京都江東区	7,547,500	22.09
藤本 一成	Hanoi Vietnam	4,947,500	14.48
小林 泰平	東京都墨田区	2,920,000	8.55
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町1-13-2 DNタワー21	2,104,000	6.16
高倉 健一	埼玉県越谷市	1,947,500	5.70
Innovation Growth Fund I L.P. Innovation Growth Ventures株式会社	Ugland House, Grand Cayman, KY1-1104, Cayman Islands	620,000	1.81
フリースタイル合同会社	東京都江東区白河1-7-18	400,000	1.17
加賀電子株式会社	東京都千代田区神田松永町20番地	210,000	0.61
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社	東京都品川区東品川4-12-3	210,000	0.61
計	-	33,934,000	99.34

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 -	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 34,160,000	341,600	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	34,160,000	-	-
総株主の議決権	-	341,600	-

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しています。

なお、当四半期報告書は、第2四半期に係る最初に提出する四半期報告書であるため、前年同四半期との対比は行っていません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,383,318	3,111,075
受取手形及び売掛金	398,923	550,624
仕掛品	103,341	10,320
その他	69,779	79,861
貸倒引当金	5,700	8,993
流動資産合計	2,949,661	3,742,889
固定資産		
有形固定資産	105,979	99,036
無形固定資産		
のれん	90,855	85,807
その他	430	153
無形固定資産合計	91,285	85,961
投資その他の資産		
その他	224,640	288,579
貸倒引当金	16,058	19,324
投資その他の資産合計	208,582	269,254
固定資産合計	405,846	454,253
資産合計	3,355,508	4,197,142
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	136,536	115,210
短期借入金	100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	197,947	210,512
未払法人税等	62,526	53,179
賞与引当金	16,154	88,420
その他	456,379	415,811
流動負債合計	969,544	883,133
固定負債		
長期借入金	310,189	254,371
資産除去債務	36,220	36,050
その他	10,901	10,669
固定負債合計	357,311	301,090
負債合計	1,326,855	1,184,224

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	554,700	805,500
資本剰余金	539,700	790,500
利益剰余金	946,250	1,447,166
株主資本合計	2,040,650	3,043,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	982
為替換算調整勘定	12,371	29,640
その他の包括利益累計額合計	12,371	30,622
新株予約権	374	374
純資産合計	2,028,653	3,012,918
負債純資産合計	3,355,508	4,197,142

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,697,411
売上原価	1,251,429
売上総利益	1,445,982
販売費及び一般管理費	897,384
営業利益	548,598
営業外収益	
受取利息	4,408
為替差益	12,296
助成金収入	6,534
その他	151
営業外収益合計	23,391
営業外費用	
支払利息	1,679
上場関連費用	5,005
その他	917
営業外費用合計	7,602
経常利益	564,387
税金等調整前四半期純利益	564,387
法人税、住民税及び事業税	63,470
法人税等合計	63,470
四半期純利益	500,916
親会社株主に帰属する四半期純利益	500,916

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	500,916
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	982
為替換算調整勘定	17,268
その他の包括利益合計	18,251
四半期包括利益	482,665
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	482,665
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	564,387
減価償却費	27,705
のれん償却額	5,047
貸倒引当金の増減額(は減少)	6,557
賞与引当金の増減額(は減少)	72,729
受取利息	4,408
支払利息	1,679
売上債権の増減額(は増加)	154,854
たな卸資産の増減額(は増加)	92,321
仕入債務の増減額(は減少)	21,270
その他の資産の増減額(は増加)	128
未払消費税等の増減額(は減少)	10,199
前受金の増減額(は減少)	2,212
未払金の増減額(は減少)	388
未払費用の増減額(は減少)	53,748
その他の負債の増減額(は減少)	782
小計	542,834
利息の受取額	4,408
利息の支払額	1,679
法人税等の支払額	72,695
営業活動によるキャッシュ・フロー	472,867
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	215,274
定期預金の払戻による収入	26,216
有形固定資産の取得による支出	21,564
投資有価証券の取得による支出	55,751
その他	11,498
投資活動によるキャッシュ・フロー	277,872
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	143,253
株式の発行による収入	501,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	358,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,514
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	543,828
現金及び現金同等物の期首残高	2,218,818
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,762,646

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不透明であり、翌四半期以降の当社グループの連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大は会計上の見積りに重要な影響はないものとして会計処理しています。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
役員報酬	32,443千円
給料及び手当	421,227

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
現金及び預金勘定	3,111,075千円
預入期間が3か月を超える定期預金	348,428
現金及び現金同等物	2,762,646

(株主資本等関係)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2020年1月31日付で、加賀電子株式会社から、2020年2月28日付で、Innovation Growth Fund I L.P.、Sun*グループ従業員持株会、株式会社リバネスキャピタル、15th Rock Ventures Fund 1 L.P.、梅田琢也から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金が250,800千円、資本準備金が250,800千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が805,500千円、資本剰余金が790,500千円となっています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

当社グループは、デジタル・クリエイティブスタジオ事業の単一セグメントであるため、記載を省略していません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益	14円80銭
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	500,916
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	500,916
普通株式の期中平均株式数(株)	33,855,780
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は当第2四半期連結累計期間において非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載していません。

2. 2020年3月11日開催の取締役会決議により、2020年3月31日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っています。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。

(重要な後発事象)

1. 公募による新株式の発行

当社は、2020年7月31日付で東京証券取引所マザーズ市場へ上場しました。当社は上場にあたり、2020年6月26日及び7月13日開催の取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議し、2020年7月30日に払込が完了しました。

この結果、7月30日時点の資本金は1,465,600千円、発行済株式総数は36,210,000株となっています。

(1) 募集方法	一般募集（ブックビルディング方式による募集）
(2) 募集株式の種類及び数	当社普通株式 2,050,000株
(3) 発行価格	1株につき700円
(4) 引受価額	1株につき644円
(5) 払込期日	2020年7月30日
(6) 資本組入額	1株につき322円
(7) 発行価格の総額	1,435,000千円
(8) 引受価額の総額	1,320,200千円
(9) 増加した資本金の額	660,100千円
(10) 増加した資本準備金の額	660,100千円
(11) 資金の用途	事業拡大のための人材確保に係る採用費及び人件費、求職者獲得のための広告宣伝費、借入金の返済に充当する予定です。

2. 第三者割当による新株式の発行

当社は、2020年7月31日付で東京証券取引所マザーズ市場へ上場しました。当社は上場にあたり、2020年6月26日及び7月13日開催の取締役会において、大和証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議しました。

(1) 募集方法	第三者割当（オーバーアロットメントによる売出し）
(2) 募集株式の種類及び数	当社普通株式 630,000株
(3) 割当価格	1株につき644円
(4) 払込期日	2020年9月2日
(5) 資本組入額	1株につき322円
(6) 割当価格の総額	405,720千円
(7) 増加した資本金の額	202,860千円
(8) 増加した資本準備金の額	202,860千円
(9) 割当先	大和証券株式会社
(10) 資金の用途	事業拡大のための人材確保に係る採用費及び人件費、求職者獲得のための広告宣伝費、借入金の返済に充当する予定です。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月11日

株式会社Sun Asterisk

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柳下 敏男 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 清水 幸樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社Sun Asteriskの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社Sun Asterisk及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象に含まれていません。